



葉山町

議会だより

No. 120
2015.4.15



第1回定例会(2月10日～3月12日)

- 平成27年度予算
- 委員会レポート
- 一般質問(12人登壇)

2～7ページ

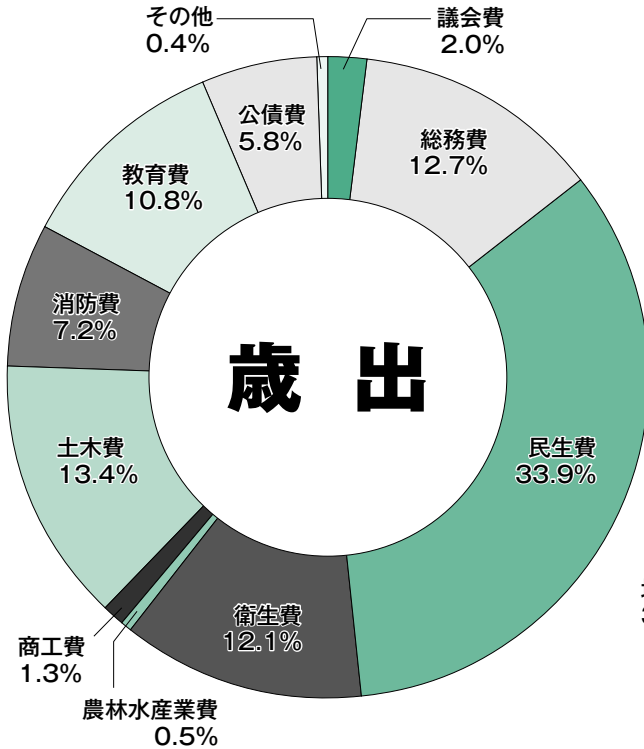
11～14ページ

18～23ページ

一般会計

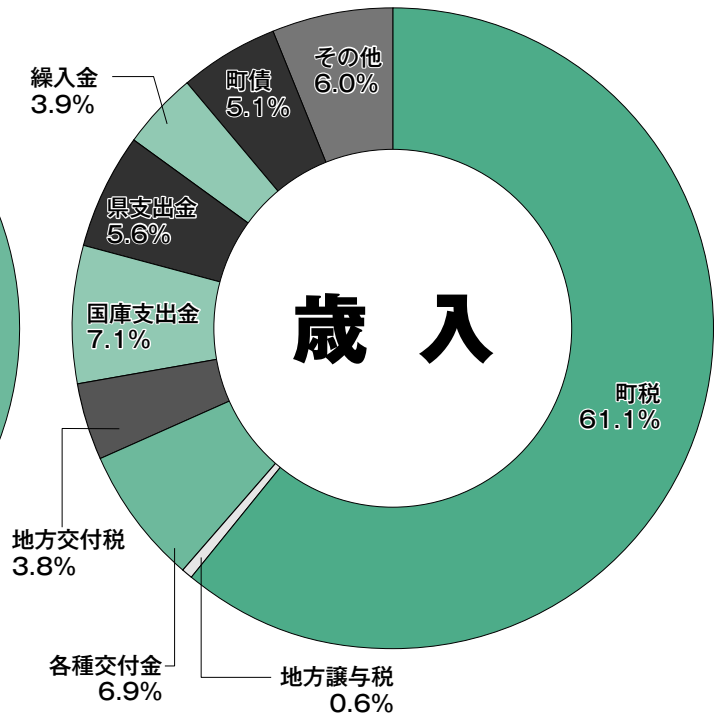
92億8,950万円を可決

予算総額 185億 7,494万円



〈主な内訳〉

- 総務費／ 11億 8,238万円
- 民生費／ 31億 4,605万円
- 衛生費／ 11億 2,001万円
- 土木費／ 12億 4,491万円
- 教育費／ 9億 9,978万円



〈主な内訳〉

- 町 税／ 56億 7,141万円
- 国庫支出金／ 6億 5,817万円
- 繰入金／ 3億 5,850万円
- 町 債／ 4億 7,020万円

平成27年度 各会計予算規模

(単位:万円 千円以下四捨五入)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	伸率(%)	
一般会計	928,950	918,960	9,990	1.1	
特別会計	国民健康保険	428,075	387,170	40,905	10.6
	後期高齢者医療	85,607	85,407	200	0.2
	介護保険	269,368	251,833	17,535	7.0
	下水道事業	145,494	134,126	11,368	8.5
	小計	928,544	858,536	70,008	8.2
合計	1,857,494	1,777,496	79,998	4.5	

町民一人あたりの町税額 16万9,276円

人口 3万3,504人 (平成27年1月1日現在 住民基本台帳人口)

町民一人あたりの予算額

277,265円

前年度対比 +4,050円



葉山町の予算を家計に例えると・・・

葉山家の年収を500万円と仮定して家計に当てはめてみました。

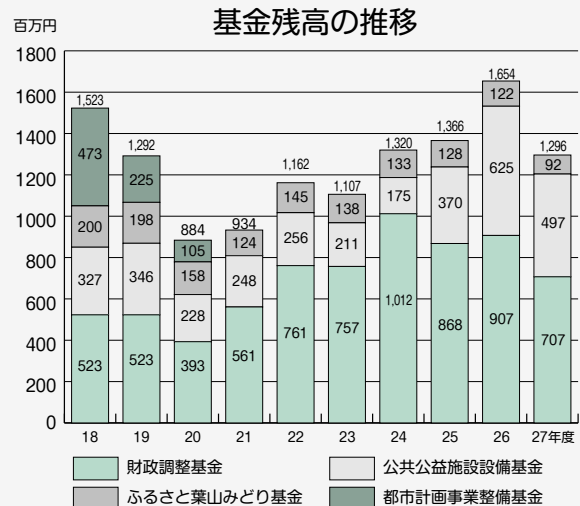
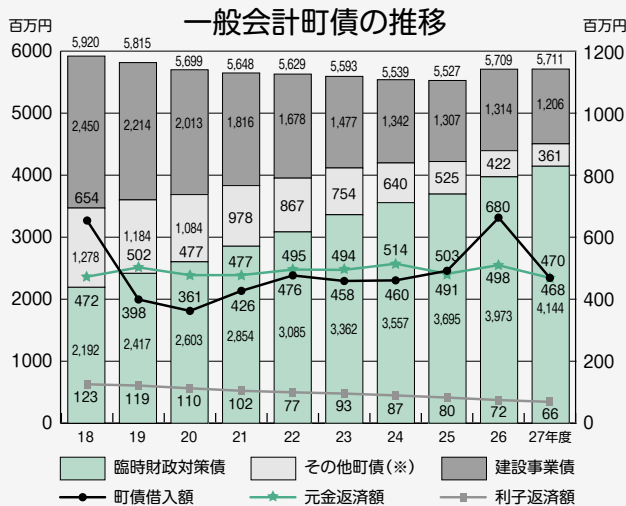
※注 () 内は前年度

収入	給料	諸手当	貯金の取り崩し	家賃	親(国)からの仕送り	家の増改築などのための借入	合計 500万円
	305万円 (303万円)	101万円 (94万円)	19万円 (13万円)	30万円 (28万円)	19万円 (26万円)	26万円 (36万円)	
町税	譲与税・交付金 ・国県支出金	基金繰入金	使用料手数料 など	地方交付税	町債		

支出	生活費	医療費	ローンの返済	家の増改築	子どもへの仕送り	その他の生活費	合計 500万円
	154万円 (147万円)	73万円 (68万円)	29万円 (31万円)	28万円 (37万円)	95万円 (93万円)	121万円 (124万円)	
人件費	扶助費	公債費	普通建設 事業費	繰出金	物件費など		

一般会計町債残高(借金)と基金残高(預貯金)の推移

(26年度・27年度は各年度末予測)



予算審議総括質問

こんな点が気になり

質問者の提出原稿を基に編集しています



予算審査風景

2月17日・18日、平成27年度予算に対し12人の議員が総括質問を行いました。

田中 孝男
(無所属)

問 2月時点の決算見通しから、約7億2千万円の余剰金(内3億2千万円は基金に積み立てた、4億円が剰余金となる)が見込まれる。年度末に起債される臨時財政対策債(国が原則交付税で支払う事としている借金を、起債しないでも済むのではないか。事前に許可を受けてはいるが、起債しなくても良いのか。

総務部長 良いと思う。
問 年間の財政運営を継続的に見ていると、基金の積み立てが順調にできているが、結果的には臨財債が基金に回っている様にも見える。臨財債残高が、平成23年度33億円から27年度見込みでは41億円と、右肩上がりが増

え続けている。「臨財債といえども町の借金に変わりはない」と、よく答えているがどう考えるのか。
町長 他の町債を減らし、臨財債が増えているが、全体のプライマリーバランスは保っている。

鈴木 道子
(公明党)

問 プレミアム商品券発行之について伺う。
町長 商工会と調整し、追加議案として示す。

問 「行政の見せる化」として「事業シート」の活用を提案するかどうか。
町長 指摘のような事業ごとのシートを作成する。健康は最大の節約だ。攻めの健康づくりとしてデータヘルスの推進やヘルスケアポイント、民間等を巻き込む健康定期預金を提案するかどうか。
町長 様々な声かけもある。十分活用していく。

問 全職員にAED講習等を受けさせるべきだが、

総務部長 対応していく。光はダイバーの、漁協は漁業の活性化。
問 認知症対策はどうか。
保健福祉部長 進める。

問 児童生徒へのがん教育をすべきだがどうか。
教育部長 国の検討会の結果を見て考えていく。

土佐 洋子
(みんなの葉山)

問 町でふるさと納税のシステムを作らないのか。
町長 草津町のような方策で、1回限りの納税にならないように考える。

問 商工会とのタイアップはできないのか。
町長 商工会だけでなく農協や漁協の力を借りて町の特産品探しをする。

問 2020年オリンピック・パラリンピックのセーリング競技の誘致は。吉報を待ちたい。
町長 ボートダイビングの有効性は。
町長 町は密漁対策、観

問 来年度の目標は。
教育長 町として、教育指導上の基本的な目標を2年かけて立案したい。

問 学校内に児童クラブを新設するための改修工事が予定されているが、校内併設の問題点が解決したのか。
町長 児童館での4学童で、町の一定の線は確保

長塚 かおる
(無所属)

問 歳入で自主財源の占める割合の理想は。
町長 大きくは町税の確保に尽きる。また、公債費の返済が確実に回れば、自主財源に回せる。

問 小・中一貫教育の施策とは。
教育長 ソフト面が重要。現場での教員が授業研究を共に繰り返し、授業力を向上。また、他県市町村の先進的取組みの成果を取り入れたい。

問 国の要求する地方人口ビジョン・地方版総合戦略策定への対応は。
町長 具体は不明確だが、本町新年度施策の具体策に酷似していると思われる。27年度中に対応する。

笠原 俊一
(尚政会)

問 町の空き家対策とは。
町長 リノベーション活用で新しい方に住んでもらう検討をしたい。

問 民間に委託か。
町長 公設だが、民営だ。



問 南郷ヒルクライムレース（仮称）の対応は。

町長 実行委員会所管だが、実施は各課連携で行う。

問 プレミアム商品券の補助額は。

総務部長 交付される満額を補助金とする。

問 姉妹都市宿泊助成の変更点、パンフレット作製費20万円とは。

生活環境部長 宿泊助成金は従来同様だが、紹介のパンフレットにクーポン券の印刷や割引パスポート的なものを草津町と協議している。

町長 多くの町民が温泉でリフレッシュされるよう強力に広報する。

窪田 美樹

（日本共産党）

問 小児医療費補助を、住民誘致の観点からも中学3年まで対象にしては。

町長 税の還元と、子どもの医療に制限を設けるべきでないという観点から、所得制限を撤廃した。検討課題だ。

問 逗子市と大差の幼稚園就園奨励金の拡充は。

町長 子ども・子育て新法に向けて新たに考える。中学校給食の実施に向けた27年度の計画は。

教育部長 規模や候補地、運営方法、整備スケジュールを整備費の概算に含めて計画書をまとめている。

問 一色小学校新館で学童保育を行うが、今後の各小学校で実施計画は。

町長 一色小をモデルとし、議論しているのか。

いる介護保険料。軽減策として一般財源を投入すべき。

町長 一般財源の投入は可能と思うが、保険料上昇は葉山らしいサービスを実施した上の結果論だ。

守屋 巨弘

（無所属）

問 葉山町にとって地方創生策とは何か。

副町長 国から示された概要等を踏まえ、これから長期ビジョン、そして地方版の総合戦略を平成27年度中に策定するよう求められているが、今後

同戦略を策定するに際して、県との協議等々あり現時点ではまだ具体的に明らかにする段階に至っていない。

問 ごみ処理事業に関して、平成26年3月策定の22年度対比で可燃ごみを30%削減する目標を掲げているが、27年度中に目標を達成できると考えているのか。

町長 可燃ごみは昨年度比で22%削減した。もう少しの努力で目標は達成できるものと考えている。

問 私立幼稚園の耐震化率の実態把握は。

教育部長 現段階では本件の把握はできていない。

畑中 由喜子

（いきいき葉山の会）

問 予算の政策重点を健康とした理由は何か。

町長 国や県の動向も踏まえ、これからの少子高齢化の時代に葉山が今で

きたところで、将来にわたり必要に迫られるものは町民の健康と判断した。

問 国の少子化対策はこゝとこ機能せず終わっている。一貫性がないため、女性が働きながら安心して子どもを産み育てる環境ではないからで、その分、町が負担している。

町長 機会を捉えて県下の市町村で統一した動きをしていくことが重要。

問 施政方針で、神奈川シープロジェクトに積極的に協力し、三浦半島を一つとした活性化に寄与したいとされたが、かつの三浦半島ぐるり一周プロムナード構想を思い出す。一律の取組みはリースクもある。葉山には葉山の良さがあるのでは。

町長 仰る通りと思う。

近藤 昇一

（日本共産党）

問 人口減少に対応する空き家対策は空き家特別措置法に基づくものか。

町長 法を活用し、プラ

スイメージの空き家活用を促す。葉山町独自の空き家対策を打ち出す。

問 耐震改修促進計画で昭和56年以前建築の木造住宅の耐震化率90%の目標年次が平成27年になっているが、施政方針に触

れているが、防除対策事業としてスズメバチの駆除費を載せて

町長 ご指摘の予算書の説明については、病虫害防除対策事業としてスズメバチの駆除費を載せていこうということ、しっかりと対策をして町民

問 制度の見直しが必要ではないか。

町長 情報を得ながら、方針を固めたい。

問 第二期教育総合プランの策定に向け、一期の教育総合プランを、どのように総括されるのか。

教育長 基本精神を受け継ぎ、総括をした上で作業に入っていきたい。

問 国民健康保険料は。保健福祉部長 平均して7千円程度下がる。

荒井 直彦

（尚政会）

問 鳥獣被害防止計画の策定は実現可能か。

副町長 県と関係各課との協議が順調に進んでいて、年度内には策定可能と考えている。

問 スズメバチの駆除事業を記載するべきでは。

町長 説明については、病虫害防除対策事業としてスズメバチの駆除費を載せていこうということ、しっかりと対策をして町民

の生命の安全を守っている。取組みの覚悟は持っている。

問 「広報はやま」にハチトラップの掲載を改めてもう一度、お願いできないか。

生活環境部長 「広報はやま」の4月号に合うかどうか、もう一度調整をして、トピックスの前面のところに、住民の方々が見てすぐハチトラップとわかるような形で対応したい。



横山 すみ子 (新葉クラブ)

問 葉山町の空き家率は、総務省の調査では県内ワースト3位で、15・4%。町内の空き家はどのような方法で調査するのか。

問 第四次葉山町総合計画のスタート年であり、町制施行100周年に向けて、27年度歳出予算で一番力を入れたところはどこか。

町長 調査は、町民の視察等、本年度は研修費に上乗せしてある。

町長 計画は検討委員会等で策定し、町民にお示ししたい。また先進地の視察等は、本年度は研修費に上乗せしてある。

町長 健康増進に向けた様々な施策の展開をこの10年で図っていくのか。

町長 健康を追及していくことが行政の責務と考える。

待寺 真司 (無所属)

町長 計画は検討委員会等で策定し、町民にお示ししたい。また先進地の視察等は、本年度は研修費に上乗せしてある。

町長 健康を追及していくことが行政の責務と考える。

町長 健康を追及していくことが行政の責務と考える。

町長 健康を追及していくことが行政の責務と考える。

町長 健康を追及していくことが行政の責務と考える。

町長 健康を追及していくことが行政の責務と考える。

町長 健康を追及していくことが行政の責務と考える。

町長 健康を追及していくことが行政の責務と考える。

町長 健康を追及していくことが行政の責務と考える。

予算特別委員会の審査報告

町長質問事項

教育長質問事項

審査結果

要 望

指 摘

要 望

1 新春の集いの規模及び内容

1 予算付属説明書の記載は正確な表現となるよう配慮すべきである。

2 国際交流及び姉妹都市間の今後の方向性

2 新規事業については資料等の提出に配慮するなど詳細に説明すべきである。

3 資源エネルギー対策促進の取組み

2 2年後に迎える国際姉妹都市締結20周年を前に、ホールドフラストベイ市との今後の交流のあり方について示されたい。

4 消防職員の採用に関する考え方

2 資源エネルギー対策

- 意見**
- 1 南郷地区活性化事業の町の関わり方について中・長期的なビジョンを示すこと。
 - 2
 - 3 消防吏員退職に伴う採用には、消防吏員をもって充てられたい。
 - 4 機械系技術職は、雇用形態にかかわらず積極的な採用を図られたい。
 - 5 町内会館のあり方に関して、早急に町としての統一の方針を示されたい。
 - 6 元気な高齢者に関する施策を積極的に展開されたい。
 - 7 生活排水処理に関わる今後の具体的な展望について早急に示されたい。
 - 8 町民への戸別収集導入後のごみ減量効果を具体的に開示されたい。

本会議における平成27年度の予算審議結果

鈴木道子・長塚かおる・守屋亘弘・田中孝男・畑中由喜子・土佐洋子・横山すみ子・窪田美樹の各議員が討論を行いました。

主な討論内容

賛成

一般会計

- ・特別交付税の減額要因となっている地域手当は財政的配慮に基づく必要な対応を引き続き要望
- ・ごみ処理事業はよりよきパートナーシップに基づき逗子市と話し合いを速やかに進めてほしい
- ・機構改革に伴い、役場内の横連携はもとより縦連携を迅速・密接に、また消防本部職員の体制強化を望む
- ・健康をテーマに多くの関連施策が盛り込まれた
- ・ショートステイでの看取り加算の創設に注目
- ・12歳まで小児医療費助成所得制限撤廃
- ・防災対策強化事業で三ヶ岡緑地津波避難経路整備が組まれた
- ・南郷活性化事業に期待
- ・家庭用燃料電池システムやリチウムイオン蓄電システム補助を評価
- ・テニスコートの施設予約システム導入
- ・町内すべての小中学校教員にパソコン整備
- ・小中学校のグラウンドの調査委託
- ・胃がんリスク検診、人間ドック・脳ドック費用補助の拡充
- ・中学校給食の年度内の基本計画のまとめ、一日でも早い実施を求める

国民健康保険特別会計

- ・保険料を1人平均7千円程度抑制できた

介護保険特別会計

- ・介護保険料の段階を現行の11段階から14段階へと細分化し低所得者の負担の伸びを低く抑えた

下水道事業特別会計

- ・10年概成プランのモデル都市を期待
- ・接続率向上に向けて町長が前向きにアクションを取らなければならない
- ・私道に面した家屋の取り扱いに対応が必要

反対

後期高齢者

- ・制度そのものに反対
- ・75歳以上の保険料が際限なく上がる仕組み
- ・制度設計に誤りがある

下水道事業

- ・3団地のコミュニティプラントを葉山浄化センターで排水処理すべき
- ・早期に市街化調整区域の合併浄化槽による整備を進めなければならない
- ・突然、10年概成と言われても理解できない

各会計別予算審議の結果

◎一般会計	全会一致により
◎国民健康保険特別会計	全会一致により
◎後期高齢者医療特別会計	賛成多数により
◎介護保険特別会計	全会一致により
◎下水道事業特別会計	賛成多数により

可決

こんなことが決まりました

本会議での質疑・討論も含めた報告です



第1回定例会は、2月10日から3月12日まで開催しました。一般質問は12人が登壇し、当面する行政課題をただしました。葉山町一般会計補正予算等29件および陳情5件を審議しました。

◎平成26年度葉山町一般

会計補正予算(第7号)

歳入概要

●町税

(1億1890万円)

●地方交付税

(379万円)

●町民いこいの家等維持管理事業(繰越明許費)

(1258万円)

歳出概要

●基金積立金

(3億2243万円)

●小学校管理事業

(△7937万円)

主な質疑

問 期末に出る余剰金の見込みは。

答 約4億円を見込む。

問 各小学校空調設備工事等は当初2億7千万円の予算だが、更正減が約8千万円で理解しているか。

答 滞納繰越ゼロを目指すべく来年度も収納率の向上に務める。

問 一般寄附に対する町

の対応状況は。

問 小中学校就学援助金

が上回った人数は。

答 小学校は当初284人が

21人増の305人、中学校で

は当初141人が18人増の159

人。問 開業予定の民間保育

所に対する補助額130

0万円は、どのような整備

をするのか。

答 周辺整備の中で、消

臭装置が250万円、防音壁

が1600万円だ。工事

差額は保育園が負担する。

事業

●空き家対策推進事業

(700万円)

●健康と生きがいづくり

推進事業 (147万円)

●小児医療助成事業

(拡充分839万円)

●消費喚起プレミアム

商品券事業 (2567万円)

歳出概要

総務費 (2368万円)

商工費 (2567万円)

主な質疑

問 地方創生交付金の町の申請は全部通ったのか。

答 今回補正に上げた事業はすべて認められたと

理解してもらいたい。

問 700万円の多額な予算

の交付金の内容は。

答 空き家の有効活用の

ための実態調査等の予算。

問 小児医療費助成事業

の840万円は、所得制限を

外した事で理解している

か。

答 所得制限撤廃に伴う

補正である。

問 消費喚起プレミアム

商品券発行事業はいつごろ

の実施を考えているか。

答 販売時期は9月から10

月、使用期限は12月から1

月末、限度額は今のところ

考えていない。

◎平成26年度葉山町一般

会計補正予算(第9号)

●議会活動費 (18万円)

◎葉山町教育・保育給

付に係る利

問 全額が繰越明許なの

は政治倫理審査会が3月中に開かれたい想定か。

◎葉山町保育所条例の一部を改正する条例

反対討論 近藤昇一

近隣市では利用者負担

の階層区分をさらに細か

くし、所得に応じた負担

算(第3号)

国庫支出金

等返納金

(1694

万円)

◎平成26年

度葉山町介

護保険特別

会計補正予

算(第3号)

基金繰入金

(600万円)

◎平成26年

度葉山町下

水道事業特

別会計補正

予算(第3

号)

総務管理事

務経費

(113万円)

◎葉山町教

育・保育給

付に係る利

問 全額が繰越明許なの

歳入歳出予算の総額

(単位:千円)

会 計 名	補正前の予算額	補正予算額				小 計	補正後の予算額
		7号	8号	9号			
一 般 会 計	9,558,140	263,889	49,534	0	313,423	9,871,563	
特 別 会 計	国民健康保険	4,030,156	19,867	0	0	19,867	4,050,023
	後期高齢者医療	914,245	0	0	0	0	914,245
	介護保険	2,573,258	6,000	0	0	6,000	2,579,258
	下水道事業	1,347,489	0	0	0	0	1,347,489
小 計	8,865,148	25,867	0	0	25,867	8,891,015	
	18,423,288	289,756	49,534	0	339,290	18,762,578	

をより公平にしている。短時間保育の保育時間の設定は開園時間の中で選

賛成討論

笠原俊一

問題点はこれから協議をしてもらいたい。基本的な改正であり、今行っているものとは内容は変わらない。

●葉山町小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

小児医療費について、所得制限を廃止する改正

●葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

消防法施行令の改正に伴う改正

●葉山町行政手続条例の一部を改正する条例

行政手続法の改正趣旨にのっとった改正

●葉山町情報公開条例の一部を改正する条例

独立行政法人通則法の改正により、同法を引用している条例の規定の改正

●教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町行政手続条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町情報公開条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町行政手続条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町情報公開条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町行政手続条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町情報公開条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町行政手続条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町情報公開条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町行政手続条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町情報公開条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

●葉山町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

賛成討論

笠原俊一

議会としては市民の利益になる行動を看過するわけにはいかないと判断する。

◎葉山町議会基本条例の一部を改正する条例

議会の会議・委員会における論議を深めることを目的に、町長等の反問権を認めるための改正

国民健康保険法施行令の改正に伴う改正

主な質疑

問 基本的な考え方は。

答 所得の高い方に多く負担してもらい、低い方の保険料の削減を目指した。

◎葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例

葉山町行政組織条例の改正、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正及び議会広報常任委員会の所管事項に広聴

に関する事項等を加えることに伴う改正

反対討論

守屋亘弘

議長を除く全員で組織するべき。広報常任委員会は下請けではない。

賛成討論

近藤昇一

定数を増やし、広報・広聴を連携させるもので

全員協議会でも報告している。

◎葉山町議会基本条例の一部を改正する条例

議会の会議・委員会における論議を深めることを目的に、町長等の反問権を認めるための改正

国民健康保険法施行令の改正に伴う改正

主な質疑

問 議会基本条例策定にあたっては小委員会を設置し、議論があつて、反問権は時期尚早という話だったが、今は機が熟したということか。

答 当時は全会一致ではなかったもので、時期尚早ということではずしたと記憶している。

◎葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例

葉山町行政組織条例の改正、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正及び議会広報常任委員会の所管事項に広聴

に関する事項等を加えることに伴う改正

反対討論

守屋亘弘

こればかりは譲れない。現在でも時期尚早だと思っている。議運では全会一致をみなかった。

賛成討論

畑中由喜子

議会での議論をより深め、活性化するためにも長等への反問権の付与が

改めて議論の俎上に乗る。

◎議員中村文彦君に対する懲罰の件（委員会審査の内容は13ページをご覧ください）

3月9日の本会議において懲罰特別委員会委員長の審査報告終了後、採決を行ったところ可否同数となったため、議長裁決により、中村文彦議員に対し5日間の出席停止の懲罰を科すことに決定した。

活発な議会活動は市民に利すると確信している。

賛成討論

土佐洋子

平成21年に議会基本条例が制定されたときから長等に反問権を付与すべきだと考えていた。

調査・議論が深まったと感じており、この時期に決めて次の議会に引き継いでもらう。

私に議会運営委員会で反対したが、良識ある議会がこれからずっと続いて行くように、将来的な環境整備の一つとして賛成することとする。

賛成討論

鈴木道子

私は議会運営委員会で反対したが、良識ある議会がこれからずっと続いて行くように、将来的な環境整備の一つとして賛成することとする。

賛成討論

近藤昇一

反問権は議会基本条例の制定の際に盛り込めなかつた経緯があるが、時代の要請とも考え賛成す

止が妥当と判断する。

◎議員中村文彦君に対する懲罰の件（委員会審査の内容は13ページをご覧ください）

3月9日の本会議において懲罰特別委員会委員長の審査報告終了後、採決を行ったところ可否同数となったため、議長裁決により、中村文彦議員に対し5日間の出席停止の懲罰を科すことに決定した。

活発な議会活動は市民に利すると確信している。

賛成討論

窪田美樹

議会での先例集に以前、停止は妥当である。提出された議事録では、中村議員は話をすり替えていての品位の保持に反するものが大半で、議員として罰が科せられたとある。これを踏まえれば今回の懲罰動議の理由は、不確かな情報のもとに、議員は話をすり替えていての品位の保持に反するものが大半で、議員として罰が科せられたとある。



議場にて 第1回定例会最終日に撮影

委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

◎消費増税の中止を求める意見書提出を求める陳情

陳情の要旨は、政府は平成26年4月1日に消費税率を8%に引き上げた。長引く不況に加え、多くの町民は「アベノミクス」の恩恵どころか、物価上昇、収入減、社会保障削減の三重苦を強いられる。政府は「消費税は社会保障財源に充てる」としているが、消費税は低所得者ほど負担が重く、社会保障財源としてはふさわしくない。財政再建のためには法人税率を見直し、大企業・大資産家に応分の負担を求めることこそ必要であるとし、国に対し消費税10%への引き上げ中止を求める意見書を提出することを求めている。

◎葉山町情報公開、不服申し立て諮問期間の改善を求める陳情書

陳情の要旨は、町情報公開条例により得た結果に対して、不服申し立てをした場合、町情報公開審査会に諮問するまでの期間が著しく長い場合がある。見受けられるので、町情報公開条例又は同施行規則等で、当該期間を定めることが望ましいと要望している。

審査の中で、担当課から、「諮問する際に必要な資料等の準備に日数がかかる案件もあり、当該期間を条例等で規定した場合、逆に審査会で時間がかかるおそれがある」との説明がありました。

審査では、「前回の消費税率8%引き上げの際にも、本町議会は全会一致により消費税増税の撤

回を求める意見書を提出していることから、消費税率10%への引き上げについても同様に、国に対し意見書を提出すべきである」との意見でまとまり、全会一致により採択し、意見書を提出すべきと決しました。

◎葉山町情報公開、不服申し立て諮問期間の改善を求める陳情書

陳情の要旨は、町情報公開条例により得た結果に対して、不服申し立てをした場合、町情報公開審査会に諮問するまでの期間が著しく長い場合がある。見受けられるので、町情報公開条例又は同施行規則等で、当該期間を定めることが望ましいと要望している。

審査の中で、担当課から、「諮問する際に必要な資料等の準備に日数がかかる案件もあり、当該期間を条例等で規定した場合、逆に審査会で時間がかかるおそれがある」との説明がありました。

審査では、「前回の消費税率8%引き上げの際にも、本町議会は全会一致により消費税増税の撤

委員から、「陳情者の願意は理解できるものの、案件によっては、再検討に時間がかかるものもあり、条例や規則等に期間を設定することには疑問がある」として趣旨了承を求める意見、「当該期間は運用で対応すること

◎葉山町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

陳情の要旨は、町長及び担当課から、「地域手当を国の基準以上に支給していることにより、特別交付税が平成23年度から減額されている状況を是正するため、労働組合と交渉を継続的に行っている」、「近隣市との地域性は充分理解しており、今後、国に対し自治体間格差を埋めるよう要望していくことを視野に入れている」との説明がありました。

委員から、「地域手当を国基準以上に支給することによる特別交付税の減額が、町民に不利益を与えることは事実である。国に対して近隣自治体との格差是正に向けて働きかけは行うべきであるが、すぐに是正されることは考えにくいことから、まずは、町として特

別交付税が減額されている現状を改善する必要がある」との賛成意見がある一方で、「地域手当支給率を下げ生活圏が同じ近隣自治体間の給料格差を広げることは優秀な人材確保を困難にするおそれがあり、ひいては町民の不利益に繋がるのではないか。地域手当は、町から国に対し是正要望を行うとともに、労働組合と話し合いを重ね結論を出すべき問題である」との反対意見が大勢を占めました。採決の結果、賛成少数により否決すべきものと決しました。

特別交付税の算定

12月交付額	10,062千円
3月交付額	148千円
震災復興特別交付税	3千円
平成26年度交付総額	10,213千円
地域手当超過支給による減額	32,559千円

教育民生

◎葉山町教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例

◎葉山町保育所条例の一部を改正する条例

両議案は関連する議案のため、一括して審査を行いました。

委員から、「近隣自治体は本町の階層区分より細かい区分を採用し、所得の変動による利用者負担額への影響を抑える等、低所得者に対する対策を行っている。本議案提出に際しては子育て支援拡充を踏まえた検討がなされる必要がある」と考え

ることから、本議案の内容では賛成することはできない」として否決を求め、一方、「町の子育て支援策については今後、改善を図るべき点はあるものの、両議案ともに子ども・子育て支援法の制定に伴い制定する必要があるので、と、それぞれ決しました。あることから、意見書を特

に問題となる規定はないものと判断する」とし、行政策定の『教育に関する大綱』と教育委員会策定の『教育総合プラン』との位置づけを明確にし、教育行政の独立性を損なわないよう配慮すべきである」との意見があったことを付記いたします。

◎教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例

◎教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例

◎葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

以上3議案は一括して審査を行いました。

「本3案はいずれも、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い制定する必要があるもので特に問題となる規定はないものと判断する」との委員の総意により、採決の結果、全会一致により可決すべきものと決しました。

◎ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情

「ウイルス性肝炎患者に対する生活支援については国の責任において早急に対策を講じる必要があることから、意見書を提出すべきである」との

総意により全会一致により採択し、国に対し意見書を提出すべきものと決しました。

◎所管事務調査

1 保育園・教育総合センターのエレベーター修繕について

2 し尿浄化槽汚泥収集運搬委託を許可制に移行したことによる町民生活への影響に対する町の対応について

3 第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画について

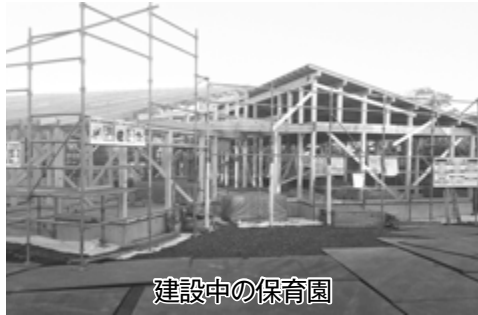
4 障害者福祉計画について

5 子ども・子育て支援事業計画について

陳情の要旨は、現状の陳情審査において、町政に関する陳情が審議未了となり、審査結果が見えない場合があるので陳情取り扱いについて、議会改選以外での「審議未了としない」よう求めているものです。

審査では、県内の他議会等の陳情取り扱いについての調査も行い、他の議会では審議未了の扱いをしていないところがないことも参考とし、全会一致で採択すべきものと決しました。

◎葉山町議会の権威を上げることを求める陳情書



建設中の保育園

議会運営

◎第1回定例会の運営について

3月6日の委員会で、追加議案等の取り扱いについて協議し、議会日程等を決定しました。

◎陳情 町政に関する陳情取り扱いの改善を求める

これは議会軽視であり、議会として究明し適切な対応をするよう求めているものです。

消防担当職員及び情報公開担当職員の出席を求めて審査を行いました。

情報公開担当職員からは、資料作成、情報公開についての改善を職員全体に徹底する旨の答弁がありました。

本陳情は全会一致で可決しましたが、委員会の意思を受け、議長から町側にしっかり申し入れるべきとの意見がありました。

◎議会改革

*決定事項

1 反問権については、他議会についての調査や

日開催の議員懇談会に提出された、横須賀市との消防指令業務共同運用に関する「打合せメモ」が、町民からの情報公開請求によって開示された「打合せ議事録」を大幅に修正したものを議会に提出している。

視察等も行いました。委員会は長い時間をかけ議論を深めましたが、全会一致の結論に至らず、議長に報告し、返上しました。

2 パソコン、タブレットの本会議場への持ち込みについては、他議会の事例を調査し、議論を重ねましたが、合意に至りませんでした。

一方、現在行っている委員会室への持ち込みについて、他議会の例を参考にして、「議会の会議における情報通信機器の使用に関する申し合わせ」を決定しました。

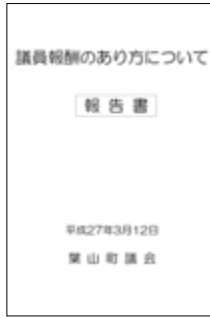
3 総括質問は、質問通告を大項目のみとし、一問一答方式で質問席で行います。

4 「議会交際費の使途基準」について、3月4日の委員会で決定しました。

5 「議員報酬のあり方について」は、約1年半、山梨学院大学江藤俊昭教授の知見によるアドバイ

スのもと、調査・議論を行いました。議員活動の実態について全議員へのアンケートを実施し、あるべき議会活動についての議論を行うとともに、町民との会議も実施しました。

総合計画特別



3月4日の委員会で最終報告を決定し、本会議で所管調査報告を行います。

報告全文は、議会ホームページに掲載しました。
委員長 横山すみ子

やすくわかりやすい計画書の完成を願い、併せて長期にわたる所管事務調査の最終報告を本会議にて行う決定をしました。

委員長 笠原俊一



懲罰特別

◎議員中村文彦君に対する懲罰動議

3月5日に土佐洋子議員ほか6人から提出されました。

この動議の趣旨は平成27年3月4日の議会休会中に開催された全員協議会での中村文彦議員の発言が事実と異なるものであったが、発言の訂正を求めたものの、当該議員は拒否した。

このことは地方自治法第132条に規定する議員の品位の保持に反する行為であることから懲罰を科すことを求めているものです。

懲罰については、会議規則において委員会に付託しなければ決定することとなつていないこととなつているため、3月9日の本会議において、発議者からの提案説明及び中村議員からの弁明ののち、議長及び当該議員を除く12人で構成する懲罰特別委員会（横山すみ子委員長、長塚かおる副委員長）を設置し、審査を行いました。

審査に当たっては、発議者に対し質疑を行い、本動議の内容の事実確認を行いました。

一致により懲罰を科すべきものと決しました。次に、科すべき懲罰の種類について協議したところ、「先ほどの本会議での弁明は弁明の体をなしておらず、議会を軽んじているものと考えられる。当該議員が公開の議場における陳謝を受け入れるか疑問であり、5日間の出席停止が妥当である」として出席停止を求める意見と、「これまでの経緯と切り離し本件のみを考えれば、出席停止ではなく公開の議場における陳謝が妥当である」として公開の議場における陳謝を求める意見にわかれ

採決の結果、賛成多数により、中村文彦議員に対し5日間の出席停止の懲罰を科すべきものと決しました。

委員長 横山すみ子

委員長 横山すみ子

全員協議会

議長招集による会議

2月18日、中村文彦議

「し尿浄化槽汚泥収集運搬委託を許可制に移行したことによる町民生活への影響に関し早急に対策を講じることを求める決議」に関して、再度町長に対応の申し入れをいたしました。その報告をいたしました。今後は町と許可業者で定期的に協議を行うとし、

町民の苦情受付は町が率先して行い、そのことを広報していく、とのことでした。

○町長から提出された「中村文彦議員の正確な資料提出及び説明を求める申し入れ」についての対応を報告しました。

本人から、謝罪する意思はないとの回答がありましたので、今後の対応として、その経過を町長に文書で報告し、回答に代えさせていただくことと、本人には議会本会議で嚴重注意することとしました。

○中村文彦議員に対する政治倫理基準等違反調査請求書が議員5人の連名で3月3日提出されました。

委員謝礼のための予算を伴いますので、補正予算が成立した時点で、速やかに議会議員政治倫理条例に基づく政治倫理審査会を設置します。

その他、行政側から計画等の説明がありました。成27年度下水道事業予算

*第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障害者福祉計画、子ども子育て支援事業計画、新型インフルエンザ等行動計画、等

議員懇談会
町長招集による会議

議長 金崎ひさ

2月2日、第4回定例会に上程する議案についての説明を受けました。

- 1 平成27年度当初予算案について
- 2 予算編成に向けて、議会から5項目の要望をいたしましたので、その対応状況についての説明も受けました。その内、反映できなかったものは2項目で他の3項目は今後、鋭意努力するとのことでした。
- 広報はやまの配布方法の改善
- 専門業者によるポスティングに改善する。
- 平成25年度下水道事業特別会計決算が不認定となったことを踏まえ、平成27年度下水道事業予算

を編成すること
今後の下水道事業のあり方を検討する年度としてアクションプランのモデル地区となり、10年後の完成を目指す。

- 2 葉山町小児の医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 3 新設保育園に係る周辺環境整備補助について
- 4 近隣住民の要望実現のための対策費。
- 4 一色いこいの家耐震工事の繰越明許について

記 金崎ひさ



全会一致の可決議案等

全会一致の可決議案等	結果
平成26年度葉山町一般会計補正予算(第7号)	可決
平成26年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
平成26年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決
平成26年度葉山町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決
葉山町小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決
葉山町火災予防条例の一部を改正する条例	可決
葉山町行政手続条例の一部を改正する条例	可決
葉山町情報公開条例の一部を改正する条例	可決
教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例	可決
教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例	可決
横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会規約の変更に関する協議について	可決
葉山町介護保険条例の一部を改正する条例	可決
平成26年度葉山町一般会計補正予算(第8号)	可決
葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
平成26年度葉山町一般会計補正予算(第9号)	可決
消費税率10%引き上げ延期でなく、中止することを求める意見書(委員会提案)	可決
ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成等支援の拡充を求める意見書(委員会提案)	可決
陳情 町政に関する陳情取り扱いの改善を求める	採択
消費税増税の中止を求める意見書提出を求める陳情	採択
葉山町議会の権威を上げることを求める陳情書	採択
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情	採択

〔平成 27 年 議会第 1 回定例会〕 表決結果

議員氏名(議席順)	近藤昇一	窪田美樹	畑中由喜子	荒井直彦	笠原俊一	中村文彦	守屋巨弘	田中孝男	土佐洋子	鈴木道子	待寺真司	長塚かおる	横山すみ子	金崎ひさ	結 果
議案・意見・陳情等															
平成27年度葉山町一般会計予算	○	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	出席停止	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	—	可 決
平成27年度葉山町国民健康保険特別会計予算	○	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	出席停止	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	—	可 決
平成27年度葉山町後期高齢者医療特別会計予算	×	× 討論	× 討論	○ 討論	○	出席停止	× 討論	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	—	可 決
平成27年度葉山町介護保険特別会計予算	○	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	出席停止	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	—	可 決
平成27年度葉山町下水道事業特別会計予算	×	× 討論	× 討論	○ 討論	○	出席停止	× 討論	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	—	可 決
葉山町教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例	× 討論	×	○	○	○ 討論	出席停止	× 討論	○	○	○ 討論	○	○	○	—	可 決
葉山町保育所条例の一部を改正する条例	× 討論	×	○	○	○ 討論	出席停止	× 討論	○	○	○ 討論	○	○	○	—	可 決
葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○ 討論	○	○	○	○	出席停止	× 討論	○	○	○	○	○	○	—	可 決
葉山町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (議員提案)	×	× 討論	○ 討論	○	○ 討論	出席停止	◎ 討論	○ 討論	○ 討論	× 討論	× 討論	×	× 討論	×	否 決
葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例 (委員会提案)	○ 討論	○	○	○	○	出席停止	× 討論	○	○	○	○	○	○	—	可 決
葉山町議会基本条例の一部を改正する条例 (議員提案)	○ 討論	○	○ 討論	○	○ 討論	出席停止	× 討論	○	○ 討論	○ 討論	◎	○	○ 討論	—	可 決
議員中村文彦君に対する懲罰の件	○	○ 討論	○	○	×	除 斥	○ 討論	×	◎	×	×	×	×	○	出席停止 5日間
葉山町情報公開、不服申し立て諮問期間の改善を求める陳情書	○	○ 討論	○	×	×	×	○ 討論	○	× 討論	×	× 討論	×	×	—	不採択

◎は提案者 ○は賛成 ×は反対

※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。

※「除斥」とは、審議の公正を期すために議員が自己もしくは利害関係を有する事件の審議に参加できないとする制度(地方自治法第117条)です。

※「出席停止」とは、議員が議会の会議の開催中に地方自治法等に規定された規律等を乱し、これらに違反した場合に科せられる懲罰(地方自治法第135条)の種類のひとつです。

意見書を提出しました

地方自治法第99条の規定により国会または関係行政庁へ送付しました。紙面の都合上、内容は要約しています。

ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成等支援の拡充を求める意見書

我が国のB型・C型肝炎ウイルスの患者・感染者数は300万人を超えていると推定され、ウイルス性肝炎は国内最大の感染症ともいわれている。

平成21年制定の肝炎対策基本法前文では、「B型肝炎及びC型肝炎に係るウイルスへの感染については、国の責めに帰すべき事由によりもたらされ、又はその原因が解明されていなかったことによりもたらされたものがある。」として国の責任が明記されており、国の責務のもと、ウイルス性肝炎患者に対する施策を推進することは喫緊の課題として確認されている。

しかしながら、ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、インターフェロン治療や核酸アナログ製剤治療など一定の抗ウイルス療法に限定されており、重篤化した場合の肝硬変・肝がんの入院費等については助成対象となっていない。さらに、肝疾患に係る身体障害者福祉法上の障害認定制度は認定基準が極めて厳しいため、患者に対する実効性ある生活支援に至っていない状況にある。

よって国においては、ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する支援を拡充するため、次の事項について速やかに必要な措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に係る医療費助成制度を創設すること。
- 2 身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準を緩和し、患者の実態に即した制度にすること。

平成27年3月12日
葉山町議会

消費税率10%引き上げ延期でなく、中止することを求める意見書

政府は平成26年4月、「社会保障の財源」に充てるとして消費税率を5%から8%に引き上げた。また、年末の総選挙直前、予定していた10%への再度の引き上げを景気の回復が図られていないとして一時的に増税を延期したが、「景気に関わらず2年後実施」と10%増税を明言している。

国民生活に大きな影響を及ぼす「消費税10%増税」は先送りしたものの、すでに8%増税によって、国民は長引く不況に加え、物価上昇、収入減、社会保障削減の三重苦と地域経済は疲弊し、特に中小企業は大きな痛手をこうむり、国民生活に大きな影響を及ぼしている。

消費税増税は、地方消費税交付金や手数料など増収は見込めるものの、建設事業費や物品・役務等で経費の増大となり、その分はすべて国民負担となる。

財政再建は国民への負担増では解決しない。国民のくらし・福祉の向上を最優先にして、格差是正を図ることこそが今求められている。

よって、国民の暮らし、地域経済、少子化が進む中での子育て環境を悪化させる消費税10%増税は、「延期」ではなく「中止」することを強く求めるものである。

なお、消費税10%を見込んでの子ども・子育て支援策は自治体負担でなく、国の責任において実施することを重ねて求める。

平成27年2月10日
葉山町議会

みなさんからの陳情のゆくえ

- ◎陳情 町政に関する陳情取り扱いの改善を求める・・・・・・・・・・・・・・・・採 択
- ◎消費税増税の中止を求める意見書提出を求める陳情・・・・・・・・・・・・・・・・採 択
- ◎葉山町議会の権威を上げること求める陳情書・・・・・・・・・・・・・・・・採 択
- ◎葉山町情報公開、不服申し立て諮問期間の改善を求める陳情書・・・・・・・・不採択
- ◎ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情・・・・・・・・採 択

議長からの諸般の報告



に対し嚴重注意することになりました。早急に、学をお約束して、この件の識経験者及び町民から委員を選出し、政治倫理審査会に調査を依頼するこ

○3月3日付けで、5人の議員（守屋亘弘、畑中由喜子、窪田美樹、荒井直彦、土佐洋子の各議員）から政治倫理基準等違反調査請求書が提出されま

○2月17日、町長から提出された「中村文彦議員の正確な資料提出及び説明を求める申し入れ」の件

調査請求の内容は左記のとおりです。

一般質問をするにあたり、議員として当然行うべき調査研究を怠ったのは明白であり、本人から謝罪すべき事案です。しかし、本人から「謝罪する必要がない」との強い意思表示がありましたので、説得不可能との結論に至りました。

1 調査請求の対象となる議員
中村文彦議員

2 調査請求の対象となる事由の内容

公共物である資源ステーションのネットボックスが中村文彦議員宅で無断使用されていた件

3月12日、関連予算（平成26年度葉山町一般会計補正予算（第9号））が可決され、議会議員政治倫理条例に基づく政治倫理審査会の設置が可能と

開及び議会への資料提出にあたって、十分に反省し、今後適正に対応するよう申し入れを行いました。町長から「情報公開を含め事務処理に係る研修を実施し、適切に対応することを徹底する」との回答をいただきました。

議長 金崎ひさ

議長 金崎ひさ

議会活動日誌

今回は、第4回定例会終了以降、120号発行までの活動報告をいたします。

12月		1月		2月		3月		4月	
17日	議会広報常任委員会	5日	議会広報常任委員会	2日	議員懇談会	9日	議会特別委員会	2日	議会広報常任委員会
18日	議会広報常任委員会	8日	総務建設常任委員会	3日	沖縄県北谷町議会・視察来町	6日	議会運営委員会	6日	議会特別委員会
24日	議会広報常任委員会	15日	教育民生常任委員会	4日	熊本県長洲町議会・視察来町	5日	総務建設常任委員会	27日	議会広報常任委員会
25日	議会広報常任委員会	16日	議会運営委員会	5日	総合計画特別委員会	3日	総合計画特別委員会		
		23日	沖縄県南風原町議会・視察来町	10日	懲罰特別委員会	2日	教育民生常任委員会		
		24日	議会運営委員会	11日	本会議（定例会）	3日	総務建設常任委員会		
		27日	群馬県明和町議会・視察来町	12日	本会議（定例会）	4日	議会運営委員会・全員協議会		
				18日	議会広報常任委員会	5日	議会特別委員会		
				19日	議会広報常任委員会	6日	議会特別委員会		
				26日	議会広報常任委員会	7日	議会特別委員会		
				27日	議会広報常任委員会	8日	議会特別委員会		
						9日	議会特別委員会		
						10日	本会議（定例会）		
						11日	本会議（定例会）		
						12日	本会議（定例会）		
						13日	本会議（定例会）		
						14日	本会議（定例会）		
						15日	本会議（定例会）		
						16日	本会議（定例会）		
						17日	本会議（定例会）		
						18日	本会議（定例会）		
						19日	本会議（定例会）		
						20日	本会議（定例会）		
						21日	本会議（定例会）		
						22日	本会議（定例会）		
						23日	本会議（定例会）		
						24日	本会議（定例会）		
						25日	本会議（定例会）		
						26日	本会議（定例会）		
						27日	本会議（定例会）		
						28日	本会議（定例会）		
						29日	本会議（定例会）		
						30日	本会議（定例会）		
						31日	本会議（定例会）		

窪田美樹

介護者の緊急時に要介護者への対応は 保健福祉部長 施設に空きがあれば受け入れ可能



問 介護者の病気等緊急時に、要介護者の対応は。

保健福祉部長 町内の3施設で、ベッドの空きがあれば受け入れ可能だ。

問 満床時もあり、緊急時短期入所生活介護事業として町が取り組むべき。

保健福祉部長 状況を把握し、検討したい。

問 27年度、テーマに掲げた「健康」施策だが、平日の昼間や抽選で参加できる対象者が少ないが。

町長 職場地域での健康事業を活用してほしい。

一方、平日町内にいる町外在住者への機会も必要。

問 27年度に行う体力測定はどのようなものか。

教育部長 測定値と平均値を記し自分がどの位置に分かるようにしたい。

問 指導や相談等のアフターケアの考えは。

教育部長 協議の中で投げかけていきたい。

問 不妊治療・不育治療費助成の取組みは。

町長 総合計画等に記載がなく対応を検討する。

問 県内17自治体、同じ財政規模の大磯・愛川町では手厚く行っているが。

町長 他市の動向を把握し、検討を進めたい。

問 町長の望む児童保育のあり方は。

町長 通学の安全を考え、校内や学校近隣にあるべきと考え

値を記し自分がどの位置に分かるようにしたい。

問 指導や相談等のアフターケアの考えは。

教育部長 協議の中で投げかけていきたい。

問 不妊治療・不育治療費助成の取組みは。

町長 総合計画等に記載がなく対応を検討する。

問 県内17自治体、同じ財政規模の大磯・愛川町では手厚く行っているが。

町長 他市の動向を把握し、検討を進めたい。

問 町長の望む児童保育のあり方は。

町長 通学の安全を考え、校内や学校近隣にあるべきと考え



ショートステイ事業所

待寺真司

スポーツや文化芸術進行条例の制定を 町長 今後の研究課題のひとつとする



問 各町内会・自治会に防災士の有資格者が最低1人いれば、地域の安全安心につながる。女性防火防災クラブとの連動を図るなど、地域防災力向上のため、講習などにかかる費用の助成をしては。

町長 防災に精通した方が必要という見解は理解できるが、特定の資格者を支援するのは難しい。まずは町職員が防災士に匹敵する専門知識を習得することに力を入れる。

問 大規模災害発生初動時の避難者受入れが、体育館だけでは難しい時は、普通教室での受け入れなど緊急体制に関する協議は進んでいるのか。

教育長 学校防災基本計画には詳細な記載はできないが、緊急対応するのには当然であり、それに常に関連しているが、

問 平成27年6月の改正道路交通法では、自転車運転に関する違反項目が14となり、大変厳しくなる。町としてルール違反をなくすための啓発活動等、重層的な取組みは。

町長 今後しっかりと研究を重ね、ホームページだけではなく、機会を捉えて直接伝えていきたい。

問 スポーツや文化・芸術振興条例を策定し、推進協議会を立ち上げ、推進計画を作り進捗管理を行うなど、早急に取組むべき

問 各町内会・自治会に防災士の有資格者が最低1人いれば、地域の安全安心につながる。女性防火防災クラブとの連動を図るなど、地域防災力向上のため、講習などにかかる費用の助成をしては。

町長 防災に精通した方が必要という見解は理解できるが、特定の資格者を支援するのは難しい。まずは町職員が防災士に匹敵する専門知識を習得することに力を入れる。

問 大規模災害発生初動時の避難者受入れが、体育館だけでは難しい時は、普通教室での受け入れなど緊急体制に関する協議は進んでいるのか。

教育長 学校防災基本計画には詳細な記載はできないが、緊急対応するのには当然であり、それに常に関連しているが、

問 平成27年6月の改正道路交通法では、自転車運転に関する違反項目が14となり、大変厳しくなる。町としてルール違反をなくすための啓発活動等、重層的な取組みは。

町長 今後しっかりと研究を重ね、ホームページだけではなく、機会を捉えて直接伝えていきたい。

問 スポーツや文化・芸術振興条例を策定し、推進協議会を立ち上げ、推進計画を作り進捗管理を行うなど、早急に取組むべき



逗子アリーナ

近藤昇一

町長 長柄交差点の諸問題は積極的に改善要望をしたい



問 長柄交差点の諸問題への対応は。

町長 朝夕の渋滞解消等を、県横須賀土木事務所と葉山警察署に、積極的に改善要望をしたい。

問 子供の遊べる公園の必要性は。

町長 子供の利用に特化した広場を設置する必要性を慎重に検討する。

問 町長も「ボールの蹴れる公園」というマニフエストを掲げているが。

町長 なかなか手がつけられないのが現状だ。問 防災広場と旧役場跡地は、もつと有効に活用できる場所では。

町長 子どものためだけの公園とすると、他の方

々が使えない不便も発生する。公共空地として意義を持つている。

問 計画が確定するまで、町民に開放すべきでは。

町長 活用は、1〜2年で答えを出す。

問 あじさい公園の今後の方針は。

町長 公園用途で使用している民間借地すべて地権者に返す方針が、園路の一部で通り抜けができない場所を生じさせた。町の所有地内で周遊できる園路を整備する案を作成したが、費用対効果等を勘案し、予算計上を見送っている。

問 整備費用の金額は。

町長 都市経済部長 現実に約600万円と

判断している。年間1万円の借地料を惜しんで、600万円かけるのか。再度地権者と話し合うべきでは。

町長 先方の意思もある。十分尊重し、今後の対応を決めたい。



長柄交差点

横山すみ子

町長 ごみ焼却炉廃炉等の予定は近隣自治体との連携で安定処理等を含め検討



問 ごみ問題は毎回のように質問しているが、明確に進んでいない。まず、近隣自治体との連携の方針は。

町長 逗子市を訪問し、当町の可燃ごみの処理について打診。今後、両市の協力関係構築の可能性について情報交換を行う。

問 ごみ処理基本計画改定の予定は。

町長 27年度末に予定のごみ減量目標達成度を見ながら、第四次総合計画を反映した10年間の計画見直しをする。

問 ごみ焼却炉廃炉及びクリーンセンターの耐震化について伺う。廃炉の方針が出たまま、来年ととも公表する。度予算にも何も計上されていないが。

町長 焼却炉を使用しない方針に変わりはしない。近隣自治体とのパートナーシップの構築や老朽化している公共施設全体を含め、クリーンセンターのあり方も検討する。

問 ごみ問題の

方針が出たまま、来年ととも公表する。

問 福祉文化会館ホールの暖房が効かず、非常に寒い。すぐ対応を。

町長 舞台袖に扉を考えるなど、対応する。

問 ごみ問題の検討委員会設置は。

町長 ごみ戸別収集の状況や逗子市との情報交換を進める中で、必要に応じて設置する。

問 ごみ処理費用については、早期に町民に公表すべきでは。

町長 平成26年度のごみ実績

町長 平成26年度のごみ実績



パッカー車

荒井直彦
都市経済部長
農業活性化に「レモンの木」を推進しては
皆さまとも相談していく



問 逗子市では、平成25年度に神奈川県で初めて植木剪定枝粉砕車両「チップ君」を導入し稼働している。町でも検討するべきでは。

生活環境部長 実際に逗子市に伺い状況を確認し、葉山町の現状との比較検討はしている。

問 植木剪定枝の取扱いでは、東京都調布市でも一部をチップカー車で区内処理をしている。町でも取組みを検討する価値があると思うが。

町長 町として取組むべき気持ちは十分持っているが、費用面、人事体制等の確保次第になるので時間をかけて検討してい



とげなしレモンの苗木

町長 ゴミとして発生する物を、町民の皆さまに還元するペレットの仲介を通じ、その作業の流れの中で障害をお持ちの方が働く場として提供する。これは、循環する世の中、最終的にたどり着ければいいと思う。

町長 昭和33年に夏みかん、北海道や東北地区では、植木剪定枝の取扱いを福祉作業所でペレットを製造・販売しているが、な取組みに果樹系では「レモンの木」にしては、国際姉妹都市とオリーブという歴史がある。今後、農業活性化として前向きな取組みに果樹系では、

問 職員諸君の報償制度を確立すべき。また、業績評価制度の実態は。

町長 現在、本町での職員への報償は、葉山町職員提案規定により、提案に類する制度は存在するものの、近年、運用した事例はない。更なる職員の意識向上を図るためにも、多方面の状況を研究し、検討したい。業務評価は、勤務態度評価、能力評価とともに、人事評価制度の3本柱のひとつとしており、平成27年度に試行して取組む。

問 27年2月4日、県知事から、町の広報紙「広報はやま」が、平成26年度県広報コンクールで

表彰された。これは、現在、業庁内でも是非、表彰してはどうか。

町長 何らかの機会を設けられないか、現在検討の最中だ。

問 26年6月5日、全国学力テストの学校別結果を公表すべきと教育長に質問した際、今後は検討していく予定だとの答弁だった。いつまで検討するのか。

教育長 平成26年度も考えた結果、町全体（学校別ではなく）の公表にとどめたいと判断した。



受賞された職員のみなさん

守屋巨弘
町長
職員報償制度は
現在検討の最中だ



報紙町村の部で最優秀賞を受賞。大変結構なことだ。葉山町職員審査委員会の第2条第5項に、表彰及び昇給の運用に関する事項がある。の教育委員会の方針をお聞きしたい。

町長 私も公表されているのか。

笠原俊一

町有地にある墓地の将来構想は
関係者と協議し決定したい



問 自治会等の会合は公民館が適当。法の趣旨に沿う利用形態と武雄市等の新時代の図書館運営も研究して欲しいが。

教育長 図書館2階のホールと研修室では、講座の開催や町内会を含む団体等に開放しているが、現状以上の開放には改修も必要となる。利便性の向上に向け研究をする。

問 利用向上に図書館第2駐車場として、防災広場を活用できないか。

町長 臨時駐車場には、行政財産目的外使用の手続きが必要。一方、子ども公園の提案もあり、今回の提案と公園案2案を貴重な御意見とする。

問 町有地にある墓地の現状と将来構想を伺う。

町長 11カ所の墓地は、明治45年に地元所有者等から譲渡を受けた。墓地の管理は各墓地管理組合が行い、大きな工事等では協議の上、予算の範囲内で町が行った事もある。今後管理組合が主体で維持管理を行う。

問 元町地区の現状から津波避難タワー用地の検討や、クリーンセンター跡地を移転先としてセレモニーホールを兼ねた研究など、防災面からも関係者や管理組合と協議を始める時期ではないか。



町有地にある墓地

問 町有地にある墓地の後のあり方は、現在その現状と将来構想を伺う。

町長 11カ所の墓地は、明治45年に地元所有者等から譲渡を受けた。墓地の管理は各墓地管理組合が行い、大きな工事等では協議の上、予算の範囲内で町が行った事もある。今後管理組合が主体で維持管理を行う。

問 元町地区の現状から津波避難タワー用地の検討や、クリーンセンター跡地を移転先としてセレモニーホールを兼ねた研究など、防災面からも関係者や管理組合と協議を始める時期ではないか。

問 町有地にある墓地の後のあり方は、現在その現状と将来構想を伺う。

町長 11カ所の墓地は、明治45年に地元所有者等から譲渡を受けた。墓地の管理は各墓地管理組合が行い、大きな工事等では協議の上、予算の範囲内で町が行った事もある。今後管理組合が主体で維持管理を行う。

問 元町地区の現状から津波避難タワー用地の検討や、クリーンセンター跡地を移転先としてセレモニーホールを兼ねた研究など、防災面からも関係者や管理組合と協議を始める時期ではないか。



資源ステーション

田中孝男

将来も安定したごみ処理は
町長 「逗子市」と協議を進めて行く



問 ごみ処理問題は以前より「近隣自治体とのパートナーシップで解決を」といわれてきたが、26年「逗子市」と具体的に表明した。内容は。

町長 前に緊急避難的に横浜市にお願いしたようなことではなく、長期的な処理体制を望んでいる。

問 横須賀市・三浦市との広域の枠に入ることはできなくなった。独自に炉を造れば40億円近くかかるだろう。三浦市は広域の負担金が44億5千万円、逗子市の延命工事は31億8千万円だ。葉山町で独自の炉は。

町長 それほどのお金かけて、この町につくる必

要はないと考える。燃やす中間処理は他の自治体の協力を得ることが町としては必定。他の中間処理は、葉山町ができる事は何かと考える。そのよ

問 25年度のごみ処理経費は7億7千万円まで下がったとされるが、固定的な人件費3億円強が含まれる。将来展望は。

町長 覚悟を持たなければ解決に向かわない問題

集約によって、収集済みは6カ月で約20%減ったとされるが、経済効果は。

町長 粗大ごみや植木剪定枝などの物もあり難しいが、半年で1500万円強が下がった。

長塚かおる

134号線の歩道・バスベイの今後は
町長 旧役場前バス停の整備は県と具体的協議中



問 建設中の保育園までの狭い道路の安全面確保の進展は。

保健福祉部長 園児の送迎は、向原からのみの行き来とし、狭い道路には人を立てる予定。送迎に利用の二輪車を昼間園内に駐輪できるように、駐輪場を整備。

問 旧役場前のバス停の具体的な内容は。

都市経済部長 県と協議し平成27年度、町有地70㎡強を売却し、25㎡の歩道を付けてバスベイを設置。

問 バスベイの屋根を旧役場庁舎の面影にしては。

町長 昔の葉山の趣を残し、モニユメント的なものにした。

問 旧役場跡地の使い道も具体的に検討しては。

町長 統合施設として地域の声を広く聞いていく。

問 葉山マリーナ前のバスベイに屋根の要望は。

町長 施設の母体がバス会社と一緒に、議論を進めている。

町長 情報を総

問 建設中の保育園まで

問 地域と学校をつなぐため、学校支援地域コー

問 現在、学校評議員制度のもと、意見を伺い、学校運営の参考にし



旧役場前バス停

喜子 由中 畑

旧役場跡地を地域コミュニティと健康増進の拠点に
町長 十分考慮していきたい



問 近年、地域コミュニティの役割は重要だ。地域の活性化のために旧役場跡地に地域コミュニティ、健康増進のための拠点の機能を持つべきでは。

町長 まだ確定的なこととは言えない段階だが、旧役場跡地は旧来から町の中心で、地域のコミュニティセンター等、町の中で集まれる場所として、同時に健康をテーマにする町として運動場所の機能を取り入れることが可能になれば、十分考慮していきたいと思う。

問 災害への備えで、27年度予算に三ヶ岡緑地津波避難路整備が計上された。早い完成が待たれる

問 葉山の海山は、いわゆる里海・里山で、人手を加えることで保たれる。里山・里海は葉山にとって未来に

問 葉山の海山は、いわゆる里海・里山で、人手を加えることで保たれる。里山・里海は葉山にとって未来に



旧役場跡地

表紙説明

1月25日、絶好の駅伝日和の中、神奈川県警察女性白バイ隊に先導され、一色小学校をスタートし、周辺道路をコースに葉山

駅伝大会が行われました。コスプレチームやオレオレ詐欺撲滅を訴えながら走る葉山警察署チーム、AED装置を持って走る葉山消防チームなど24チーム620人の選手が参加、

葉山中「吹奏楽部」の演奏もあり、会場は盛り上がりました。協賛企業等110以上、賞品提供を得て町の活性化にも貢献しています。



議会交際費支出状況(平成26年10月~平成27年3月)

内訳は次のとおりです。(詳しくは議会ホームページをご覧ください)

種別	件数	金額(円)
慶弔費	1	10,800
会費	9	53,000
賞品代	1	7,077
寸志(祝金)	4	43,624
その他	3	26,030
合計	18	140,531

町長行政報告

○訴訟の経過報告

平成26年9月19日付けで、葉山町を被告とする訴状が株式会社サンフォーレケアサービスから提出されていましたが、27年1月26日に開かれた口頭弁論において、原告側より葉山町に対する訴えを取り下げの旨の陳述があり、町がこれに同意したことにより、本

訴訟は終了いたしました。

任期中最後の定例会が終わり、議会広報常任委員会もこのメンバーでの最後の議会だよりの編集作業を行っています。

この2年間で大きな変革は、この委員会が、特別委員会から、常任委員会へと変わったこと、ユーストリームで全ての委員会中継が実現したことです。

2年前の委員会再編後、初めての議会だより113号では、写真に合わせて初めて横長の表紙に挑戦しました。以来、元気な子

どもたちのスポーツシーンを表紙に、元気をもらえた気がします。

編集方針として、議会での議論、決定したことなどをありのままにお伝えすることを心掛けてきました。一方一般質問は、公文書としての「議会だより」に掲載するのふさわしい内容であったか、心配なところでした。

3月19日記

畑中由喜子

○1千万円以上5千万円未満の契約

(千円未満四捨五入)

①葉山処理区(堀内)枝線築造工事(その2)

4062万円

②風早橋補修工事

1688万円

議会の最新情報は
ホームページを
ご覧ください



このメンバーで2年間編集に携わりました

平成27年第2回定例会は
議員選挙後の臨時会で
決定の予定です。

議長 金崎 ひさ
議会広報常任委員会

畑中由喜子 荒井 直彦
守屋 亘弘 田中 孝男
土佐 洋子 窪田 美樹